発行：2022.4.13
発行責任者：沼田たか子

葛飾区議会議員
ぬまた

沼田 たか子

区議会レポート Vol.2

e-mail:katsushika@seikatsusha.net
https://numata.seikatsusha.me
葛飾・生活者ネットワーク

沼田たか子の活動報告

1～2 月

デジタル施策連続講座（全３回）に参加。
デジタル改革関連法が成立し、基礎自治体の大切な役割は情報格差により恩恵を受けられない市民をフォローすることにあります。

3/19

第８回新金線沿線クリーンアップ大作戦に参加。
葛飾区の南北（新小岩～金町）を結ぶ区民の足として期待されている新金線の旅客化について学んだのち、新小岩駅から奥戸９丁目までの清掃活動をしました。

3/27

柴又で開催されたミニコンサートに参加。
音楽をきっかけに人とひとをつなぐ活動、地域コミュニティづくりを応援します。

▶会場の Atelier 485 Tokyo にて
主催者、演奏者のお二人とともに

第１回定例会を終えて

分厚い予算書をどこからどう読んでいくのか、この予算は増えているのか減っているのか、それはどのような経過や方針によるものなのか、担当課に確認しながら、政策に関係する予算を一つひとつ理解し質問につなぎました。議案や報告の内容は議会前に知らされているものもありますが、全てではなく、議会中に新たに追加される議案もあります。議案や報告が告知され、担当者から説明を受けて委員会で審議する、議会中はその繰り返しです。多岐にわたる審議内容を理解し、質問にする。政策実現につなげるためには、どう質問をしたらこちらの思いが伝わるのかを考えながら質問原稿を書き、審議に臨みました。担当者からの説明の翌日が委員会、という日程も多く、前もって準備ができないので大変でしたが、自分なりに努力を積み重ねた４３日間でした。このように一歩一歩着実に取り組んで、みなさまと一緒に安心して暮らし続けられるまちづくりをすすめていきます。みなさまからのご提案をお待ちしています。

令和４年 第１回定例会 2/16～3/30

審議内容

令和4年度の予算を含む37議案、議員提出議案５件、請願５件、意見書1件について審議。ロシアのウクライナ侵攻に抗議する議決を全会一致で可決。

家族介護者支援の充実を求め ケアラー支援条例制定の検討を要望

新規事業として、家族介護者のための夜間・休日の電話相談窓口設置、パンフレット作成および高齢者支援センターや居宅介護事業所での配布が始まります。この取り組みには期待していますが、相談窓口は当事者がその存在を知ってこそ機能するしくみであり、パンフレットを施設に設置するだけでは情報を届けられない当事者がいることも考えられます。より多くの家族介護者に活用してもらうため、ケアマネジャーが訪問時に介護者にパンフレットを手渡し、新たな相談窓口について直接説明する方法を提案しました。
また、現場のケアマネジャーやヘルパー、訪問看護師などがこれまで以上に家族支援の視点をもって取り組めるような包括的支援が望まれます。家族介護者がおかれている状況を改善するためには、いつでも相談できる窓口や気軽に立ち寄れる居場所、休養時間の確保などの支援策をすすめるだけでなく、介護する人が自分らしく生きられるよう「介護は家族でするのが当たり前」という社会全体の意識の変革が必要です。
ケアラーの存在と役割の認知をすすめるために、かねてより訴えてきた、ケアラー支援条例の制定についても検討することを要望しました。

ケアラーについて知ろう

「ケアラー」って何?

介護や看病、療育が必要な人を無償でケアする人のことをいい、主に家族がケアラーの役割を担っています。

高齢者だけではないケアの対象

年齢に関わらず、難病の人や障がいのある人、医療的ケアを必要とする人、さらにはアルコールなどの依存症や引きこもりの人などさまざまです。

調査※からみえるケアラーが抱える困難

「介護は家族がするもの」という意識はケアラー自身にも強く、自分の時間を削って介護や介助などに充てることで、体調不良や離職などといった生活への影響が出ている様子が生活者ネットワークの調査からわかりました。

※ 2020年11～12月実施。
都内に暮らす23人のケアラー（葛飾区２人）への聞き取り調査より。

必要とされるケアラーへの支援

ケアの内容は身の回りの世話や家事、外出時の介助・付き添い、感情面のサポートなど多岐にわたります。状況によっては一日中つきっきりでいる必要から、心身共に疲弊して健康を害したり、仕事を継続できず退職を余儀なくされ生活困窮に陥る人、ケアのために学びや遊びの機会が奪われている子どももいます。家族だけでケアを続けることには限界があり、社会全体でケアラーを支援するための体制づくりが求められています。

私たちの政策は地域のみなさまの声から生まれます あなたのひとことをお寄せください

生活の中で感じる疑問・困難、
こんなまちにしたい、というご提案など、
ご自由にお書きください。

WEBフォームからも回答いただけます→→→

お困りのこと、関心のある項目に〇をつけてください。
よろしければその内容や理由をあわせて教えてください。

- 医療・介護・福祉
  内容：
- 子育て・教育
  内容：
- 環境
  内容：
- 人権・ジェンダー平等
  内容：
- その他

こんなまちにしたい、というご提案など
ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

沼田たか子 PROFILE

■1976 年 新潟県吉田町（現：燕市）に生まれる。
■1998 年 新潟大学医療技術短期大学部看護学科卒業。日本医科大学付属病院、新潟大学附属病院に勤務。結婚後、訪問看護師として働く。
■2011 年 聖徳大学人文学部心理学科卒業。生活クラブ生協に加入。
■2013 年 葛飾区に転居。子育てをしながら、生活クラブ生協まちかつしかの運営委員として活動する。
■2017 年 身近な地域で暮らす人々の役に立ちたいという思いから葛飾区内の訪問看護ステーションに勤務する。
■2021 年 葛飾区議会議員選挙に初当選
■現在 文教委員会、区民サービス向上対策特別委員会に所属

●資格：看護師、介護支援専門員、心理相談員
●趣味：庭いじり、ヨガ ●家族：夫、息子 ●葛飾区新宿在住

だれもが住みなれた地域で安心して暮らせる葛飾に

「病気や障がいがあっても、誰もがその人らしく、
安心して暮らしていける葛飾にしていきたい!」
一人ひとりの声を区政に届け、
実態にあった制度やしくみの提案で困りごとを改善していきます

葛飾・生活者ネットワーク

議員は市民の代理人。
生活者ネットワークは議員を代理人と呼び活動しています。

生活者ネットワーク 3つのルール
- 議員は交代制、議員の特権化を防ぎます
- 議員報酬は市民の政治活動資金に
- 選挙はカンパとボランティアで

〒125-0054 葛飾区高砂 8-21-1
TEL:03-5876-4757 FAX:03-5876-4758
e-mail:katsushika@seikatsusha.net
https://numata.seikatsusha.me

政治は生活を豊かにする道具

沼田 たか子に
あなたの声をお寄せください。

公式WEBサイト、SNSはこちらから ⇒